

熱中症予防について

- ① 学級での保健指導
 - ・朝の健康観察で児童の健康状態を把握する。
 - ・ハンカチの所持や汗の始末，十分な睡眠や朝食の摂取状況，服装・帽子などの保健指導をする。
 - ・マスクについては，暑い日や湿度が高い場合の登下校，休み時間や運動をするときは，外して十分な距離を保ち，不要な話は控える。
 - ・水分補給のよびかけをする。（室内の活動でも）
- ② 授業中，校舎内での活動
 - ・窓を開けて風通しを良くする。
 - ・エアコンの適正な使用をする。（高湿度にも注意）
コロナ対策でエアコン使用中も換気が必要。
- ③ 体育（校庭・体育館）
 - ・必要に応じて授業前にはWBGTを測定する。
***WBGT31℃以上は運動を中止する。また，WBGTが31℃に至らなくても，近い数値であれば児童等の安全を考慮し，運動を中止する。**
 - ・「日常生活に関する指針・運動に関する指針」を参考にして指導する。
 - ・運動の前と後に水分補給を必ずする。
 - ・運動中は適時休憩を入れる。
- ④ 業間・昼休み
 - ・熱中症指数が高いと予想される場合WBGTを測定し，31℃以上の場合は屋外での活動を中止する。中止の場合は校内放送で呼びかける。
 - ・帽子をかぶって外に出る。
 - ・水分補給をする。
- ⑤ 登下校中
 - ・必要に応じ，遮光帽子・日傘等の活用を認める。
 - ・水筒持参し，安全に配慮して水分補給を行う。